

平成21年6月期(第13期) 第2四半期決算説明会資料

株式会社 ディーバ
(証券コード3836 ヘラクレス)

平成21年(2009年)2月17日

DIVA®

- ◆ **ディーバとは**
 - これまでの歩み
 - 事業内容
 - お客様の概要

- ◆ **平成21年6月期 第2四半期決算概要**
 - 主要数値
 - 事業セグメント別売上高
 - 四半期別損益
 - 費用構造

- ◆ **今後のビジネス戦略**
 - 「連結会計」から「連結経営」へ
 - 商品開発方針
 - 提供ソリューションの拡大

- ◆ **参考資料**

- ◆ ディーバとは
- ◆ 平成21年6月期 第2四半期決算概要
- ◆ 今後のビジネス戦略

ディーバとは ~これまでの歩み~

市場ニーズの進化

・連結ベースでの決算情報開示

・四半期開示

・決算早期化(45日開示)

・内部統制強化

・マネジメントアプローチ

・国際会計基準
(IFRS)対応

会計ビッグバン

1997

2000

2003

2006

2009

・DivaSystem
Ver1 リリース

・DivaSystem
Ver8 リリース

・Formula-X リリース
・EIGS リリース

・DivaSystem Ver9 リリース

金融商品取引法 施行

◆連結会計の「自動化」

- ・連結会計パッケージソフトウェア(DivaSystem)開発・導入
- ・製品バージョンアップによる会計制度への迅速な対応

創業(1997年5月)

大規模連結会計システムの
開発・導入経験を持つ「会計」
「IT」「コンサルティング」の
プロフェSSIONナルを中心に設立

◆連結会計の「効率化」

- ・情報収集、情報活用
ソリューションの拡大

◆連結会計の「高度化」

- ⇒「経営会計」への進化
- ・経営会計プラットフォームの開発

DIVA社の歩み

ディーバとは ～事業内容～

事業セグメント

事業の概要

ライセンス
販売

●ソフトウェアパッケージの開発・販売

- ・連結会計、経営会計業務パッケージの販売
- ・制度改定、お客様のニーズへの対応を軸とした製品開発

+

コンサルティング
サービス

●連結会計システム導入のプロフェッショナルサービス提供

- ・高度な業務ノウハウをもったのシステム導入コンサルティング
- ・お客様特有のニーズを実現するカスタムソリューション提供

+

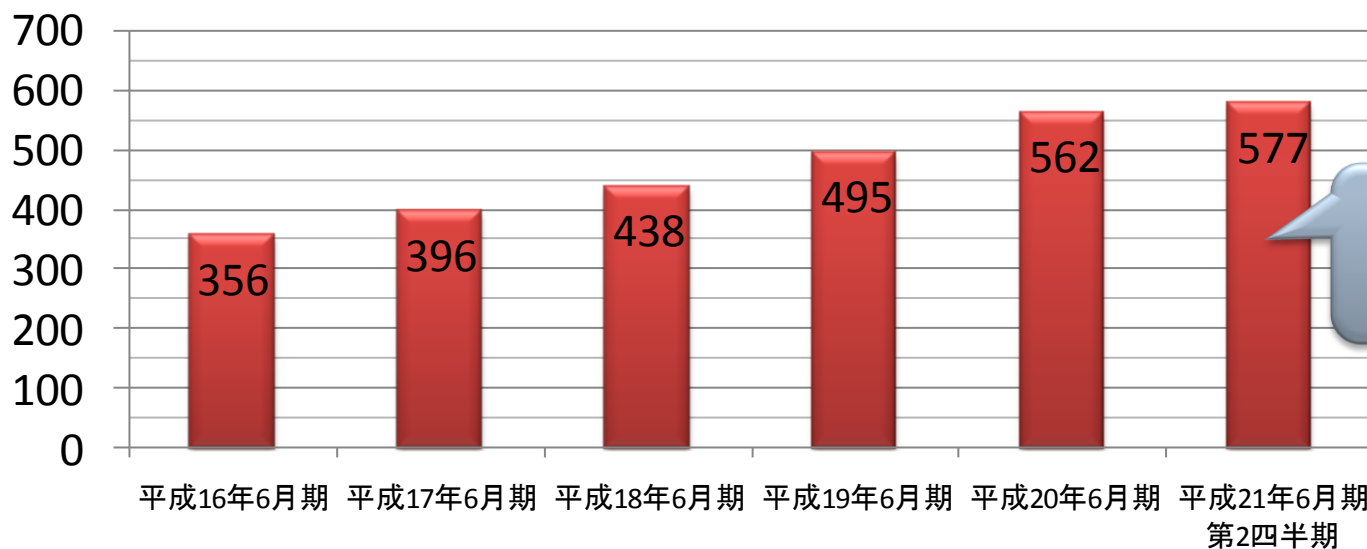
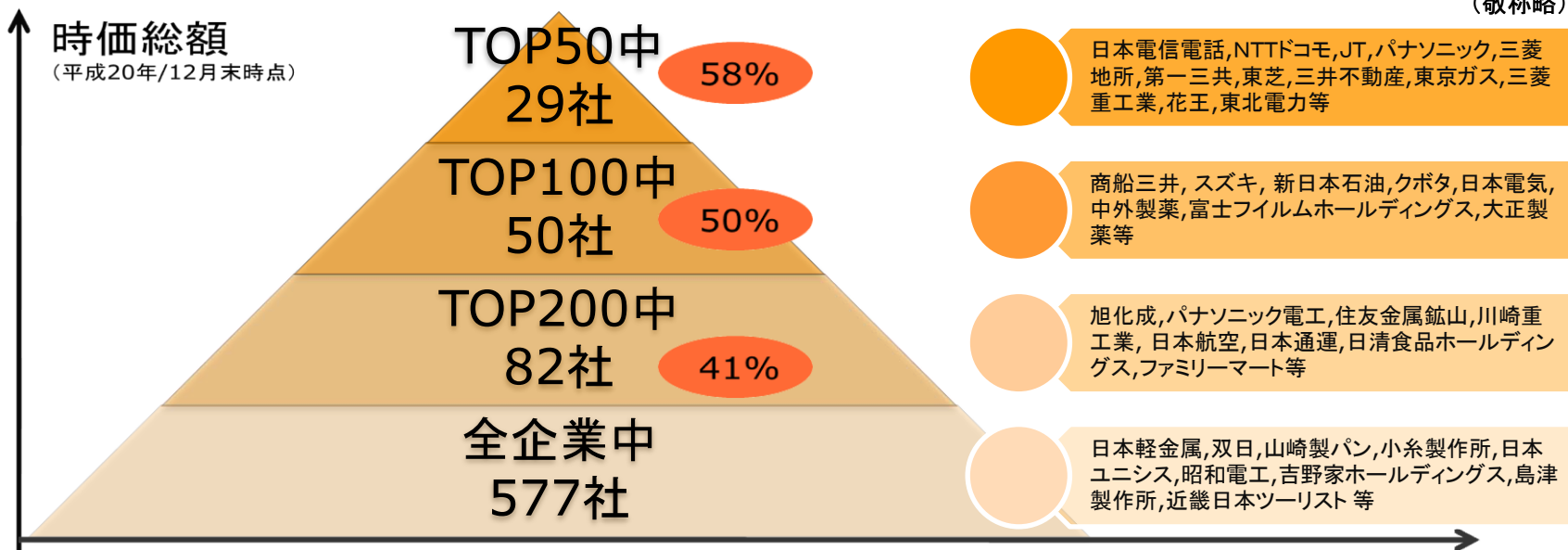
サポート
サービス

●お客様の連結会計業務のサポート提供

- ・お客様の業務を支援する、業務サポート+システム運用サポート
- ・常に最新の製品をご利用いただくためのバージョンアップサービス

ディーバとは ～お客様の概要～

(敬称略)



取引継続率
92.5%

- ◆ ディーバとは
- ◆ 平成21年6月期 第2四半期決算概要
- ◆ 今後のビジネス戦略

経営トピックス

- ◆ 市場環境の変化
 - 世界的金融危機にともなう景気の急速悪化
 - 下期のIT投資への消極化の見込

- ◆ 経営体質の改善
 - RFM*の月次実施による見込み予測精度の改善
 - プロジェクトマネジメント品質の向上によるサービス検収率の改善
 - コスト抑制施策の実施

- ◆ 経営会計システムプラットフォームの開発
 - 米国子会社 Diva America 設立
 - OSS(オープンソースソフトウェア)を活用した商品開発

*Rolling Forecast Managementの略。
毎四半期期首に、当期を含む向こう4四半期の見込み数値の精査を行うマネジメントプロセス。

平成21年6月期 第2四半期決算概要

◆ 主要数値

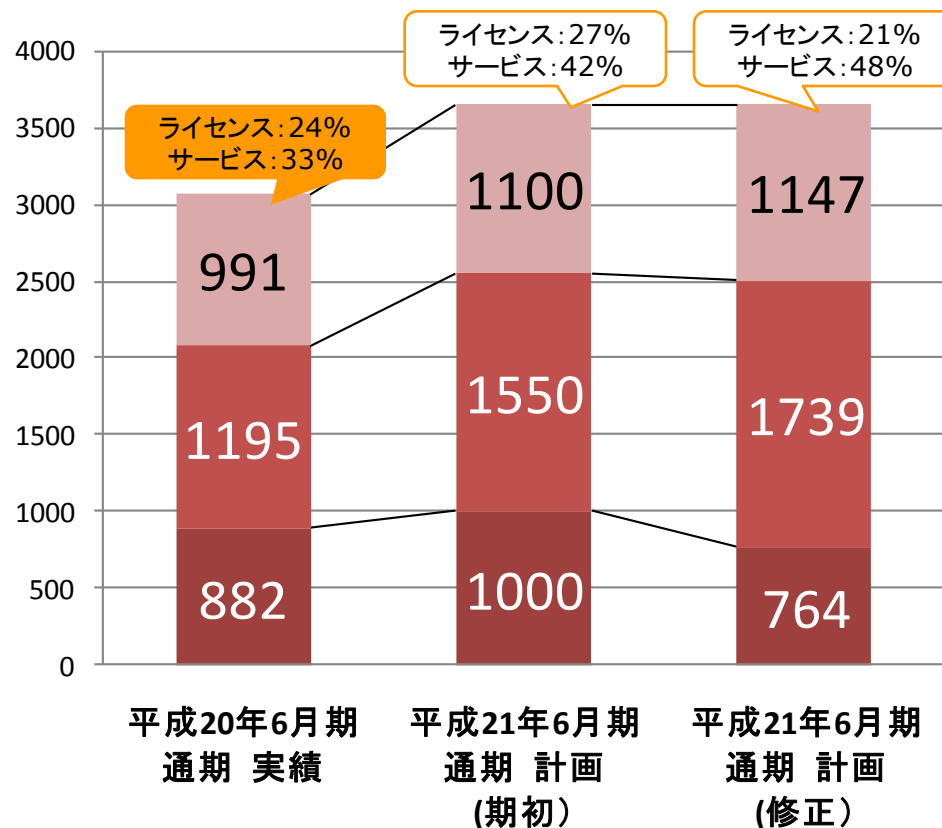
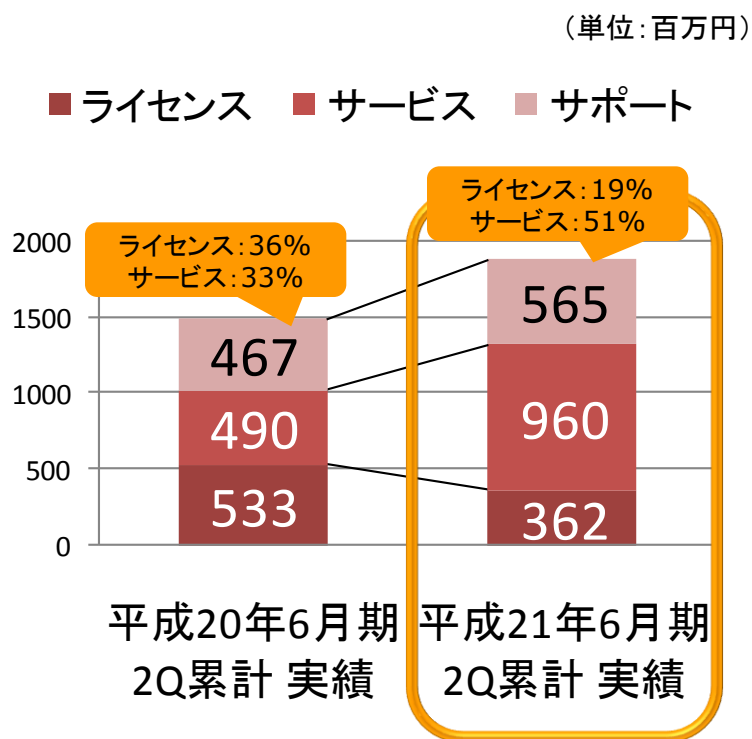
(単位:百万円)

	平成20年6月期 第2四半期 累計		平成21年6月期 第1四半期 累計		平成21年6月期 第2四半期 累計			平成21年6月期 通期 計画	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	計画値	構成比
売上高	1,490	100.0%	994	100.0%	1,888	100.0%	26.7%	3,650	100.0%
売上総利益	989	66.4%	591	59.5%	1,084	57.4%	9.6%	-	-
販管費	706	47.4%	429	43.2%	826	43.8%	17.0%	-	-
営業利益	283	19.0%	162	16.3%	257	13.6%	-9.2%	410	11.2%
経常利益	281	18.9%	161	16.2%	255	13.5%	-9.3%	400	11.0%
当期純利益	159	10.7%	95	9.6%	150	7.9%	-5.7%	235	6.4%
期末純資産	1,113	-	1,233	-	1,301	-	16.9%	-	-
ROE	14.3%	-	7.7%	-	11.5%	-	-2.8pt	-	-
期末総資産	2,405	-	2,531	-	2,548	-	5.9%	-	-
ROA	6.6%	-	3.8%	-	5.9%	-	-0.7pt	-	-
期末お客様数(社)	530	-	572	-	577	-	+47	-	-
従業者数(人)	198	-	240	-	231	-	+33	-	-
うち、従業員数(人)	156	-	194	-	192	-	+36	-	-

平成21年6月期 第2四半期決算概要

◆ 事業セグメント別売上高

- 大規模プロジェクト受注に伴い、サービス売上比率が増加
- 景気後退の影響からライセンス新規受注減



平成21年6月期 第2四半期決算概要

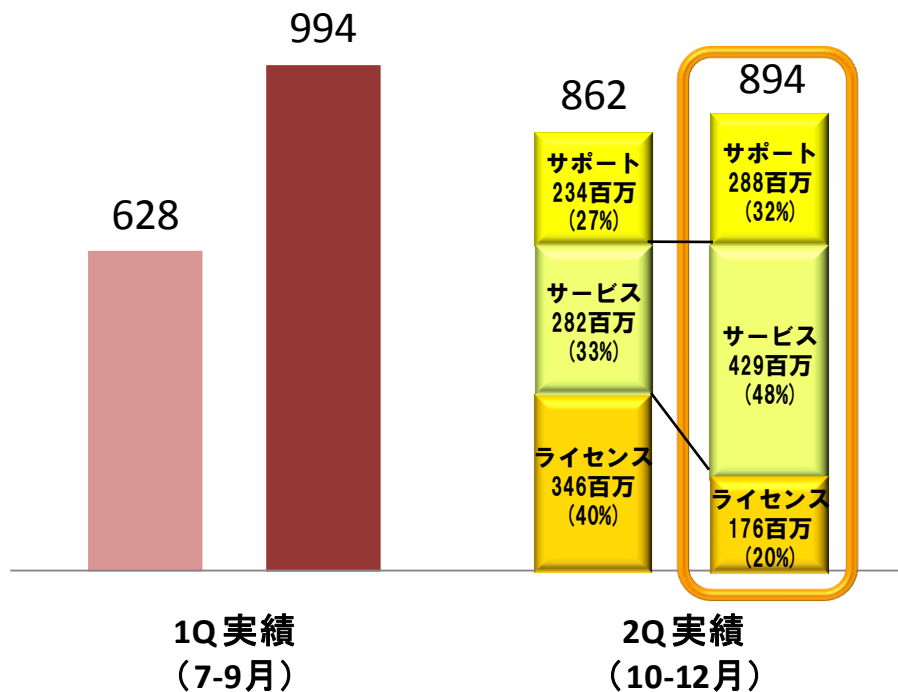
◆ 四半期別損益

- 第2四半期はサービス割合増、ライセンス割合減、営業利益率減
- 営業利益率10%を堅守

売上高

(単位:百万円)

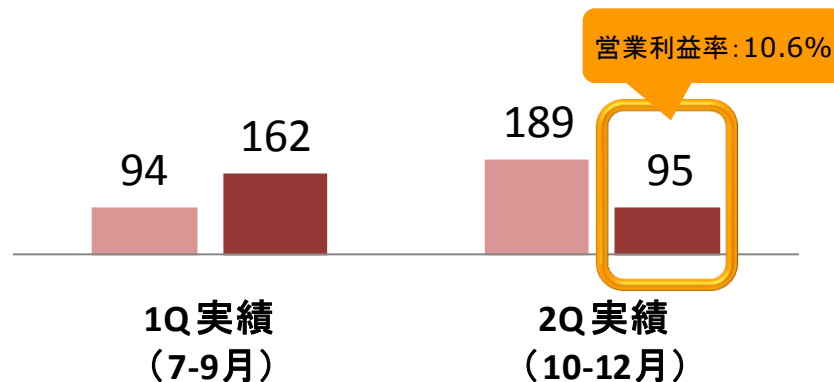
■ 平成20年6月期 ■ 平成21年6月期



営業利益

(単位:百万円)

■ 平成20年6月期 ■ 平成21年6月期



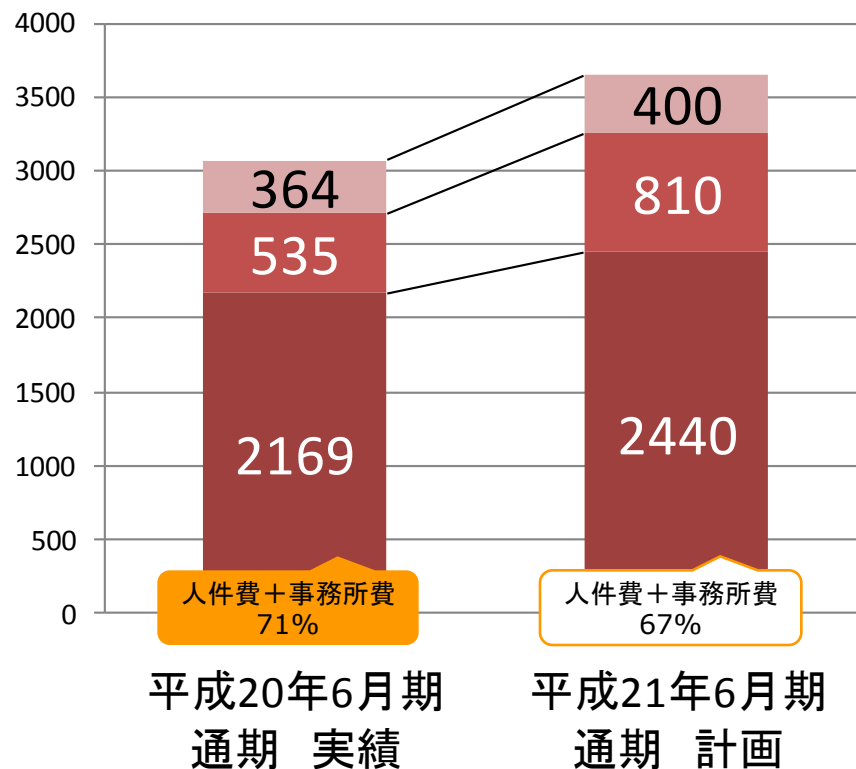
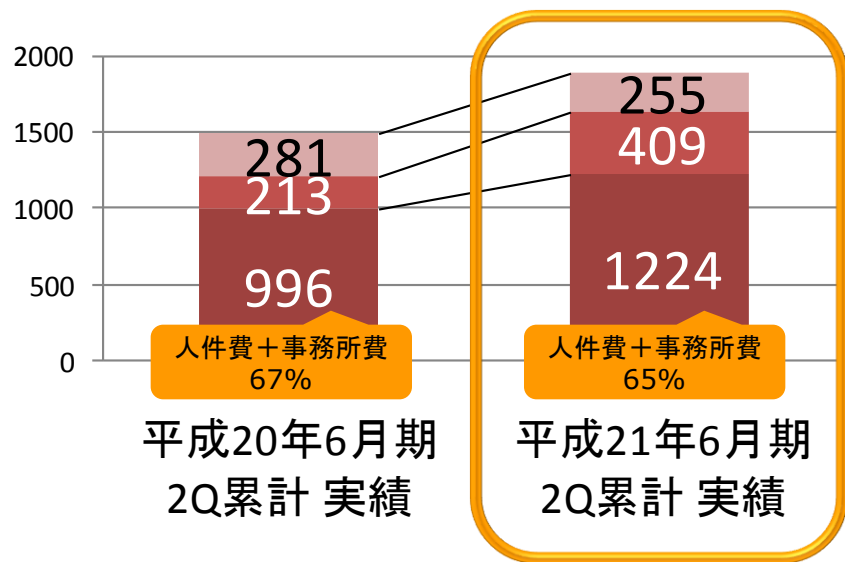
平成21年6月期 第2四半期決算概要

◆ 費用構造

- 人件費＋事務所費は65%（前年同期比-2%）
- H21通期計画の67%に対し順調な推移（H19/6期 67%、H20/6期 71%）

（単位：百万円）

■ 人件費＋事務所費 ■ その他費用 ■ 経常利益



- ◆ ディーバとは
- ◆ 平成21年6月期 第2四半期決算概要
- ◆ 今後のビジネス戦略

今後のビジネス戦略

◆ 「連結会計」から「連結経営」へ

自動化

連結決算制度改正

効率化

内部統制
四半期開示

高度化

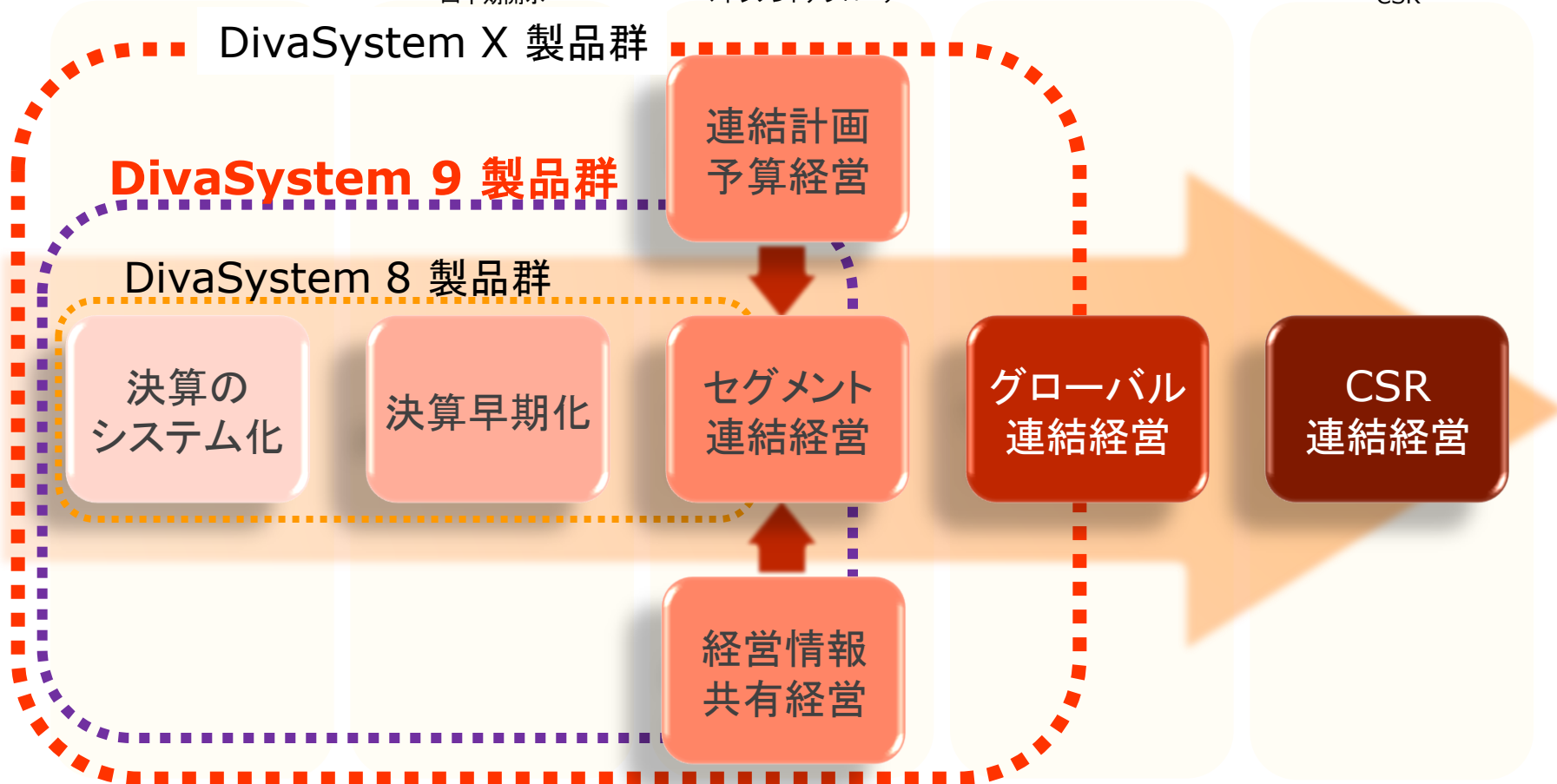
M&A経営統合の一般化
マネジメントアプローチ

国際化

IFRSアダプション

共生化

環境会計
CSR



今後のビジネス戦略

◆ 商品開発方針

業務専門性(高)

連結経営会計業務の高度化

- IFRS対応
- マネジメントアプローチ
- グループ連結予算
- グループ経営情報の統合

OSS最先端情報技術の活用

- BI(ビジネスインテリジェンス)
- ワークフロー
- グループウェア

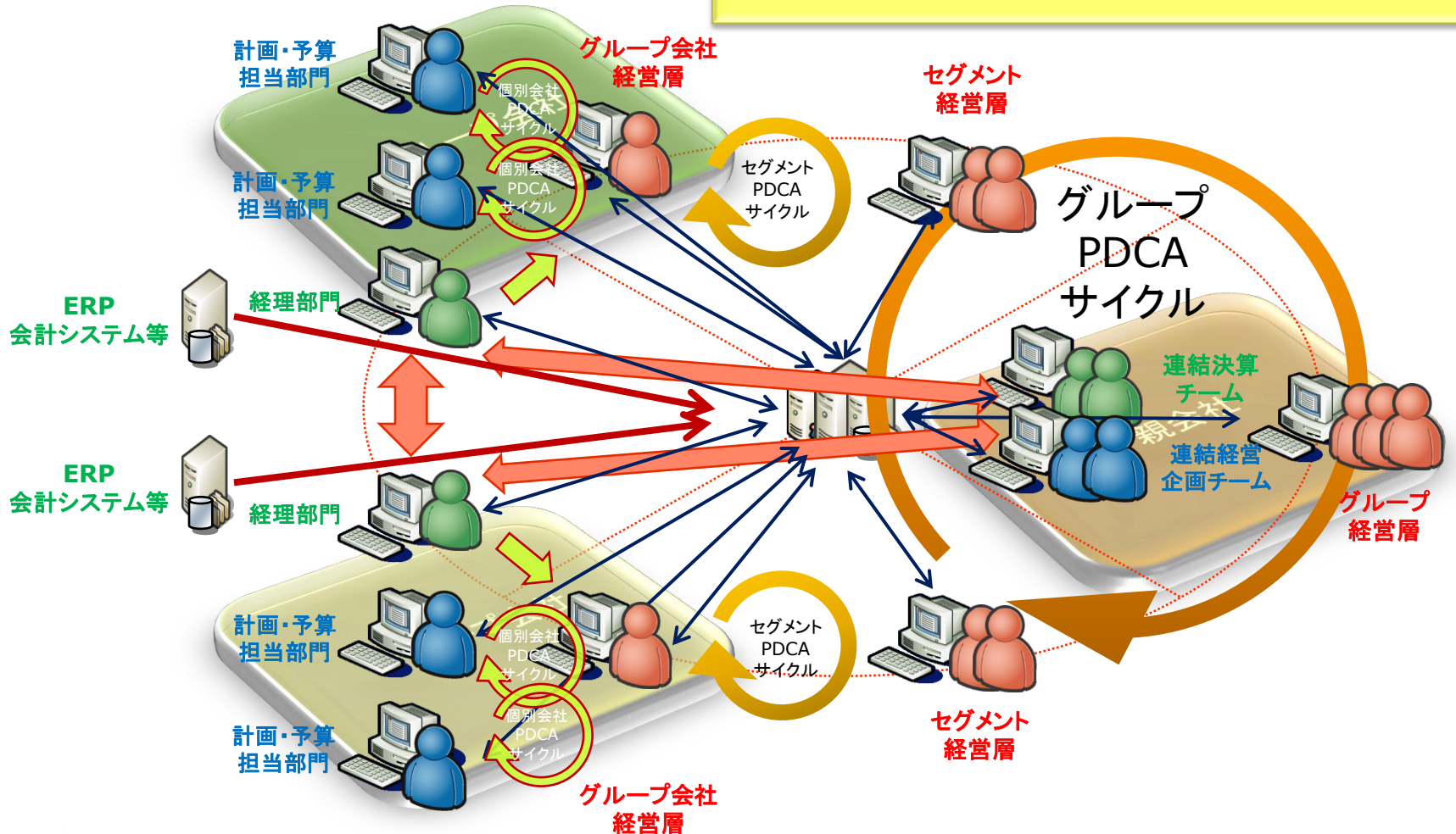
ROI(高)

連結経営会計業務の専門性を高めつつ、最新の情報技術を活用し、ROIの高い連結経営情報システムソリューションを開発・提供します。

今後のビジネス戦略

◆ 提供ソリューションの拡大

開示を前提とした連結会計システムを中核に、意思決定のためのグループ連結経営会計情報基盤としてのソリューションを提供します。



DIVA®

参考資料

- 用語集
- 会社概要
- DivaSystem 9 製品群

- **BI**
Business Intelligenceの略。業務システムなどから蓄積される企業内の膨大なデータを、蓄積・分析・加工して、企業的意思決定に活用しようとする手法。ERPパッケージなどからもたらされるデータの分析を専門家に依存せず、経営者や社員が必要な情報を自在に分析し、経営計画や企業戦略などに活用することを目指す。
- **CSR**
Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)の略。企業がさまざまな活動をおこなうプロセスにおいて、利益を優先させるのではなく、ステークホルダーとの関係を重視しながら、社会的公正性を保つことや、環境対策を施すことなど、社会に対する責任や貢献に配慮し、長期にわたって企業が持続的に成長することができるよう目指すことを経営戦略として捉え、そのように社会での役割を果たさなくてはならないという社会側からの要請のことをいう。ステークホルダーとは、消費者、取引先、地域社会、株主、従業員をさす。
- **ERP**
Enterprise Resource Planning の略。企業全体を経営資源の有効活用の観点から統合的に管理し、経営の効率化を図るための手法・概念のこと。「企業資源計画」と訳される。これを実現するための統合型(業務横断型)ソフトウェアを「ERPパッケージ」と呼ぶ。
- **FASB**
Federal Accounting Standard Board (米国財務会計基準審議会)の略称。米国会計基準(US GAAP)の取りまとめを行う民間機関。
- **GL**
General Ledger (総勘定元帳)の略。個別会計システムを指すことも多い。
- **IASB**
International Accounting Standards Board の略。IFRS(国際会計基準)の作成を目的とする民間の専門家組織のこと。前身となる組織が1970年代に日米欧の会計団体により創設され、2001年に現在の組織形態となった。本部はイギリスのロンドンにある。
- **IFRS**
International Financial Reporting Standards の略。IASBが作成する国際会計基準。近年、欧州を中心に急速な広がりを見せており、全面採用もしくは一部採用を決定した国は100カ国を超える。
- **OSS**
Open Source Software (オープンソースソフトウェア)の略。ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを、インターネットなどを通じて無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布が行なえるようにすること。また、そのようなソフトウェア。ソースコードがあれば、そのソフトウェアの類似品を作成したり、そのソフトウェアで利用されている技術を転用することが容易に可能なため、企業などでは自社の開発したソフトウェアのソースコードは極秘とし、他社に供与するときにはライセンス料を取ることが多い。

□ PDCA

Plan, Do, Check Action の頭文字をとったもの。事業活動のサイクルである「計画(Plan)」、「実行(Do)」、「確認(Check)」、「改善(Action)」を指す。

□ US GAAP

US Generally Accepted Accounting Principle (一般に妥当と認められた会計原則)の略。米国FASB、SECにより提示される会計基準をとりまとめたもの。

□ 環境会計

企業などの組織が環境に関する社会的責任(CSR)を果たしつつ、環境保全の活動を効果的・効率的に推進するため、環境負荷や環境保全の費用と効果を把握するための手法。環境活動と経済活動を連係する経営手法として重要な役割を担う。Environmental Accounting、Green Accountingなどとも呼ばれる。

□ 会計基準のアドプション (adoption)

IFRSを自国の会計基準として全面採用(adopt)する取り組み。重要な差異をなくし、異なる基準を収斂させるというコンバージェンスのアプローチとは大きく異なる。

□ 会計基準のコンバージェンス (convergence)

各国・地域によって異なる会計基準をより統一的なものに収斂(converge)させる取り組み。対象となる主な会計基準はIFRS、US GAAP、日本基準の3つ。

□ マネジメントアプローチ

経営の意思決定に用いられる情報を開示する、という会計情報の開示手法。セグメント情報の適切な開示が中心となり、IFRSやUS GAAPで採用されている。平成20年3月には、日本でも会計基準の国際的なコンバージェンスの観点から導入されることとなり、平成22年4月1日以降開始する連結会計年度(または事業年度)から適用が開始される。

□ ワークフロー

企業における一連の業務手続きの流れ、あるいはその流れを図式化したもの。またはその流れを管理するソフトウェア製品を指す。

□ グループウェア

企業内LANを活用して情報共有やコミュニケーションの効率化をはかり、グループによる協調作業を支援するソフトウェアの総称。主な機能としては、グループ内のメンバー間および外部とのコミュニケーションを円滑化する電子メール機能、メンバー間の打ち合わせや特定のテーマについて議論を行なうための電子会議室機能、グループ全体に広報を行なう電子掲示板機能、メンバー間でスケジュールを共有するスケジューラ機能、など。

連結会計からスタートした経営会計ソフトウェアメーカー

社名 : 株式会社ディーバ (銘柄コード: 3836 大阪証券取引所 ヘラクレス市場 2007年2月8日上場)

設立 : 1997年5月26日

代表者 : 代表取締役社長 森川 徹治

メンバー : 192名 (2008年12月31日現在)

資本金 : 2億8,040万円 (2008年12月31日現在)

主要業務 : 自社開発ソフトウェアを軸とした大手企業向け経営情報システムソリューションの提供

所在地 : 東京本社(蒲田)、大阪オフィス(堂島)、名古屋オフィス(名古屋駅前)、米国子会社(サンフランシスコ)

DivaSystem 9 製品群



個別会計システム

データ収集
ソリューション

連結処理
ソリューション

データ出力
ソリューション

子会社

他システムからの情報収集

- DIVA ExcelAdapter**
-ExcelのデータをそのままDivaSystemへ取り込むためのオフライン入カツール
- DivaSystem IGA**
-グループ会社からのデータをリアルタイムオンラインで収拾するためのモジュール
- DivaSystem EIGS**
-Excelを利用して、グループ内でのデータ収集を双方向オンラインで実現するモジュール
- DivaSystem Dx3**
-ERPや個別会計システムからDivaSystemへデータ連携させるための汎用インターフェイス・モジュール

- DivaSystem LCA**
-DivaSystemの基本モジュール
- DivaSystem LCA Plus**
-注記情報や附属情報の他、お客様ごとに異なる管理情報を収集管理することを可能にするモジュール
- DivaSystem SBU**
-カンパニー単位や事業部単位などのセグメント別に連結財務諸表を作成するモジュール

- DivaReporter**
-基本出力機能として250種類以上のレポートを用意。
- DivaSystem Formula-X**
-DivaSystem上のデータをExcel上へ出力するレポートینگモジュール
- DIVA DataTranScripter**
-Formula-Xとの連携により、DivaSystem内のデータをWordやPowerPointへ自動連携させる各種報告資料作成支援ツール
- DivaSystem GIR**
-親会社で処理したDivaSystemの情報を、IGAを利用して各グループ会社で参照するモジュール

親会社

<IR関連お問合せ先>

電話：03-5480-7600

Mail：IR@diva.co.jp

担当：田中、遠藤

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。